

第 33 回 北陸地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時 令和 4 年 2 月 8 日 (火) 14 時 30 分～16 時 30 分

2. 場 所 (Web 会議方式)

3. 出席者 辻本委員長、池本委員、中田委員、中村委員、平林委員

4. 議 事

(1) 三国川ダム定期報告書(案)について

(2) 北陸地方ダム年次報告書(案)について

(1) 三国川ダム定期報告書（案）について

【総括】

平成28年度～令和2年度の調査結果の分析・評価をとりまとめた三国川ダムの定期報告（案）について、審議された。

その結果、治水・利水について適切な効果を発揮していること、環境への影響等についても、各種環境指標の状況に現状で問題ないことから、三国川ダムについては適切に管理運用されていることが確認され、定期報告書（案）については了承された。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は下記のとおりである。

1) 防災操作

- ・信濃川という大河川でダムの防災操作に関する評価をする時は、三国川ダムの防災操作の効果の確認だけでなく、水系全体での治水対策の効果とあわせて確認する必要がある。

2) 利水

- ・春先は冬場の流況、ダムの操作運用面から、年度によって貯水位が大きく異なる。今後、注目していきたい。

3) 堆砂

- ・なし

4) 水質

- ・なし

5) 生物

- ・アレチウリについては、生息が確認されれば、対処が可能なうちに完全に駆除する。拡大することのないように対応した方が良い。

6) 水源地域動態

- ・なし

(2) 北陸地方ダム年次報告書（案）について

【総括】

大石ダム、手取川ダム、大町ダム、大川ダム、三国川ダム、宇奈月ダム、横川ダムの7ダムについて、令和2年度の管理・運用状況を取りまとめた北陸地方ダム年次報告書（案）について、報告された。

なお、委員会の審議に際し、各委員より出された主な意見等は下記のとおりである。

1) 防災操作

- ・国管理ダムの防災操作の実施状況のほか、大規模減災協議会で進められているハザードマップ等のソフト対策や治水協定に基づく利水ダム等の事前放流の実施状況もあわせてとりまとめをお願いしたい。

2) 利水

- ・なし

3) 堆砂

- ・なし

4) 水質

- ・T-P 負荷量は、大町ダムは近年高い傾向にある。手取川ダムは古いダムのため上流側から安定していると思う。そういう経年的な視点も入れて考察してはどうか。横並びで見たものをどう考察するか、もう一歩進められたら良い。

5) 生物

- ・なし

6) 水源地域動態

- ・なし

以上